



ソフィアだより

6月は、雨の音や紫陽花の彩りが美しい季節です。しっとりとした空気の中で、子どもたちは外の様子を観察したり、水たまりに興味をしめしたりと、この時期ならではの発見を重ねています。

さて、人は生まれる前から「つながる力」を持っていることを証明した研究があります。イタリア・パルマ大学の研究では、お母さんがあくびをすると、お腹の中の赤ちゃんもあくびをすることが報告されました。

まだ言葉も使えない胎児の時から、相手の様子に反応し、同じような行動をする「社会性の芽」が育っているのです。人は、もともと誰かと関わり、つながるために生まれてきた存在なのだと感じさせる研究です。そしてその力は、一人ではなく、集団の中でこそ豊かに育っていきます。

ソフィアの生活の中では、友だちと一緒に遊ぶこと、気持ちを通わせること、時にはぶつかり合いながら関係を深めることを大切にしています。そうした日々の積み重ねの中で、子どもたち一人ひとりの「つながる力」が少しずつ伸びていくことを願っています。

雨が続くと大人は少し気持ちがふさがちになりますが、子どもたちは長靴を履くことに心を弾ませ、雨の音に耳を傾けながら、自然とつながる時間を楽しんでいます。その豊かな感性に目を向けながら、大人も一緒に6月の季節を味わい、子どもたちの育ちをあたたく応援していきたいです。

てるてるぼうず てるぼうず あーした 天気になあれ♪

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実